

川崎運送労働組合 第 72 回定期大会

川崎運送労働組合は、2017年9月24日（日）川崎運送本社5階にて、第72回定期大会を開催しました。

午前10時、橋本副執行委員長の開会挨拶に始まり、資格審査報告を大内執行委員が行い、大会成立要件が満たされていることを確認。改めて定期大会の開会を宣言し、中馬代議員（中央営業所）、根岸代議員（北関東営業所）両名が議長団に選出。書記に大塚代議員（北関東営業所）、角田代議員（北関東営業所）両名を任命し定期大会を進めて参りました。

来賓には上部組織である運輸労連神奈川県連合会より、亀崎執行委員長、高橋書記長、友好組合の日通川崎運輸労働組合より中島執行委員長、飯塚正良川崎市議会議員（川崎区）と準組織内議員である織田勝久川崎市議会議員（宮前区）に駆けつけて頂きました。



神奈川県連
亀崎執行委員長



日通川崎運輸労働組合
中島執行委員長



川崎市議会議員
飯塚 正良 氏

亀崎執行委員長は挨拶の中で、私たちの尊厳を守るための100万人署名運動の協力について。政治動向では民進党の離党ドミノ。衆議院解散、選挙。働くものを守る2015年法案廃案の可能性。関係法令の多い運輸業界の政治との関わり的重要性。を話して頂きました。また挨拶最後には、神奈川県連の歴史に触れると共に、神奈川県連初代執行委員長『高山 信』（川崎運送労働組合）氏であったことも紹介して頂きました。

中島執行委員長の挨拶では、「組合活動の根幹は人と人のつながり」と話して頂き、同じ地域に集う労働組合として、共に頑張っていきたいと激励を頂戴しました。

飯塚、織田両議員からは川崎市議会の報告、今後の政治動向を交え挨拶を頂戴しました。また、公務多忙の中駆けつけて頂いた織田議員には、大会最後までお付き合い頂いたことに感謝します。

来賓退席後、友好単組より多くの祝電を頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。代表して運輸労連 難波中央執行委員長と、川崎運送代表取締役社長 高橋浩治様の祝電が紹介されました。

休憩をはさみ議事を再開。2016年度一般経過報告を小川書記次長。2016年度決算報告を中森会計係り。会計監査報告を吉田会計監査が行い、拍手を持って承認されました。

続いて議案審議に入り、第1号議案2017年度活動方針（案）を照井書記長。第2号議案2017年度予算（案）を中森会計係り。第3号議案2017年度規約・規定改正を阿部執行委員長が提案をし、3案とも承認されました。

川崎運送労働組合は 2017 年度を中間年とし、役員、執行委員の改選は行われません。その旨を議長から説明の後、神奈川県連では書記次長、運輸労連中央本部では執行委員の職を戴いている望月特別執行役員からの挨拶で、「労働組合というスケールメリットを活かした全労災、労金の商品」について説明をし、組合活動の目的の一つでもある生活安定に向けた取り組みを紹介。続いて川崎運送労働組合執行部を代表して阿部執行委員長より、「今年度の春闘は昨年度の反動が予想され厳しいものとなる見通し」を表し、その中でも労働運動を前進させていく強い意志を表明しました。



スローガン採択に移り、議長が「魅力ある運輸産業をめざし 政策実現に向けた力強い運動を！」と読み上げ、満場の拍手を持って承認され、すべての報告、議案、提案事項が可決、承認されました。

議長が大会役員、書記の解任をし、閉会に向け小川書記次長が議長団の解任。ここまでの議事進行に対し労いの言葉を掛け、満場の拍手のもと降壇しました。続いて小川書記次長の閉会挨拶では、組合員全員に向けて無事故の重要性を訴え、最後に阿部執行委員長のガンバロー三唱で、川崎運送労働組合第 72 回定期大会を締めくくりました。

私たち川崎運送労働組合は、上部機関である神奈川県連、そこに集う友好組合、神奈川県風車共闘協議会、その他にも多方面にわたり多くの方に支えられています。共により良い労働条件、労働環境の獲得を目指し、微力ではありますが労働運動の前進に努めてまいります。

関係各位の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



報告者 川崎運送労働組合書記長 照井 良知